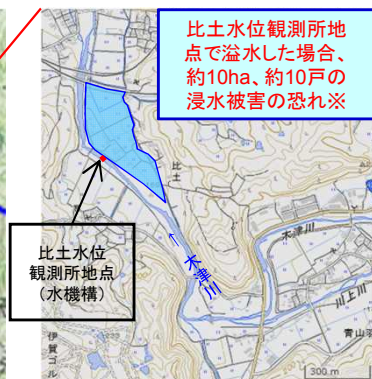
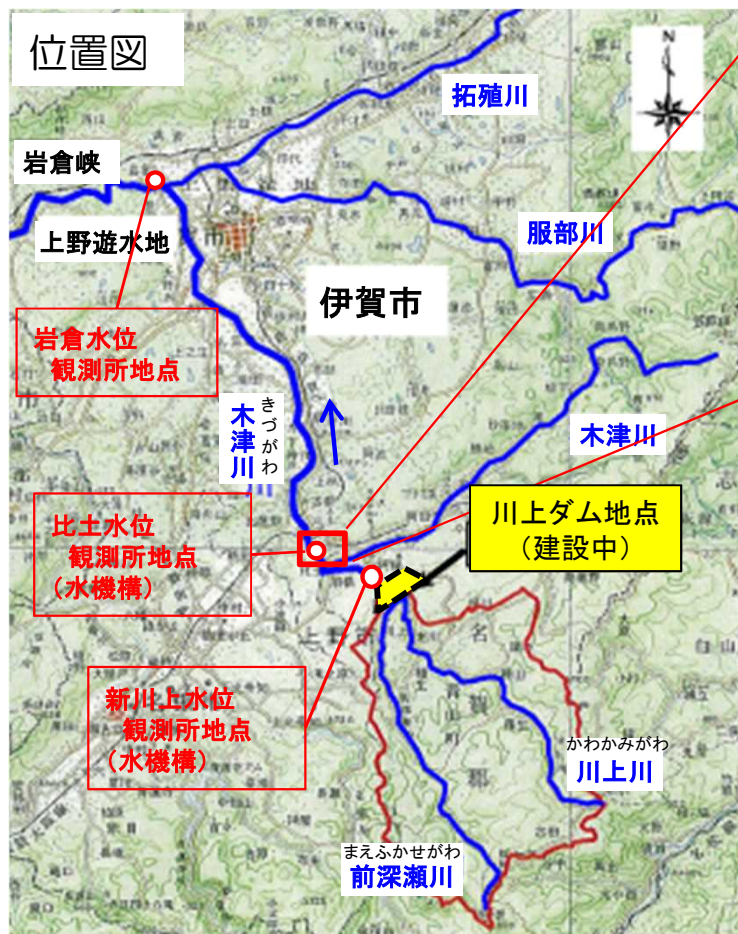


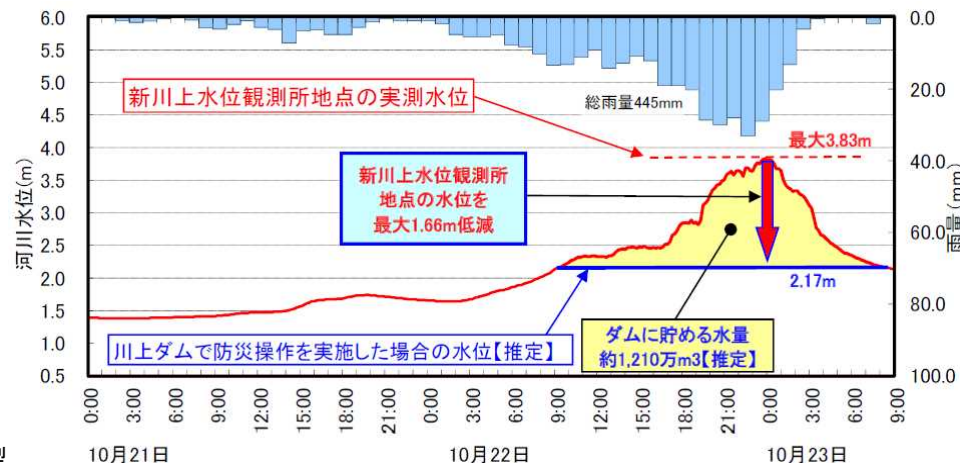
今後整備するダム等の効果 淀川水系 川上ダム

- 川上ダム流域(前深瀬川及び川上川)における流域平均総雨量は445mmを記録。(既往2位の降雨:S59観測開始以降)
- 今回の洪水において、川上ダムが完成していた場合、約1,210万 m^3 (京セラ大阪ドーム約10杯分)の水を貯留し、ダム下流の比土水位観測所地点(伊賀市)で、約1.70mの水位を低減させる効果があったものと推定。
- 下流に位置する木津川の岩倉水位観測所(伊賀市)では、「避難勧告」の発令基準となる「氾濫危険水位」を約2時間超過したが、川上ダムが完成していた場合、同水位を下回る効果があったものと推定。



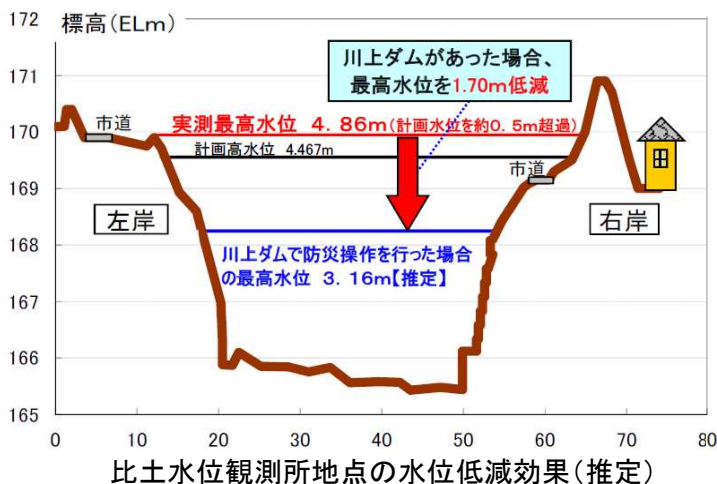
溢水した場合の浸水想定

※当日は河川管理者(三重県)が大型土のうを設置し、実際の浸水被害なし
 ※川上ダムの完成は浸水リスクの低減に非常に重要



川上ダム流域の降雨量と川上ダム防災操作図(推定)

※新川上水位観測所を川上ダム地点として算定(推定)



岩倉水位観測所(川上ダム地点から約20.0km下流:木津川)
 比土水位観測所(川上ダム地点から約2.0km下流:木津川)



比土水位観測所地点上流
 (平成29年10月22日15時40分時点)

※今回の発表は速報値であり、今後の調査により数値等が変わることがあります。